

（報告1）「審査委員会」を開催ー「地区まちづくりルール」の適用を開始ー

協議会は、港区が「港区まちづくり条例」に基づき平成27年に認定した、協議会の「まちづくりルール」の規定に従って、平成28年度、29年度5月までの期間に13件の「申請」を受け、4回にわたる「まちづくりルール審査委員会」を開催した上で、「一定の条件」付で承認をしました。

【審査結果の概要】

審査委員会は現地視察、申請者との質疑応答による審査の結果、承認するにあたり申請者に「一定の条件」をお願いしました。その概要は下記の通りです。

- 1、ルール1に基づき耐震強度の再チェックと災害時に備え、生活物資の備蓄計画をお願いしました。
- 2、ルール2に基づき「緑を増やす工夫」の検討をお願いしました。
- 3、ルール3に基づき「地域との絆強化」のため町会への入会をお願いしました。
- 4、ルール4に基づき、民泊の禁止、暴力団等反社会的組織、または風俗営業等を行なう者と契約をしないことの確約を頂きました。
- 5、ルール5に基づき「空き室での犯罪防止」のため施錠、巡回チェック等の提案を頂きました

（報告2）平成29年度「通常総会」を開催

まちづくり協議会の「平成29年度通常総会」が5月14日（日）に「区民協働スペース」で会員36名ご出席の下開催され、7件の議案が審議され承認されました。特に「平成29年度事業計画」では、下記計画を実施することが確認されました。

1. 協議会活動に関する基本的考え方としては
(1) 会員相互のコミュニケーション強化とまちづくり知識の習得に努める。
(2) まちづくりルールの審査会活動を推進し、まちづくりルールの徹底を図ると共に、地域内を定期巡回してルールの適用状況の把握に努める。
2. 協議会の運営計画としては
(1) 地域内の具体的な問題並びに将来の姿の模索をテーマにした研究会を行う。
(2) 「まちづくりNEWS」を通じ協議会活動を地権者の皆様、地域内住民の皆様に積極的に公開する。

（お知らせ）「合同セミナー」を7月30日（日）に実施します！

当NEWS3ページにご報告の「デザインゲーム」で得られた「この地域でまちづくりを検討する時のポイント」を設計条件として、プロが描いた複数の「街の図面」をもとに、出席者皆で討議する連先生による「4回シリーズ」最終回のセミナーを下記にて開催致します。
多くの皆様のご出席をお待ち申し上げます。

7/30（日）14:00～16:00 港区区民協働スペース（六本木5-16-16 麻布保育園3F）

常時、協議会の会員を募集しています。共にまちづくりを進めましょう！

協議会の趣旨にご賛同いただける方々には、是非、ご入会と対話への参加をお願い申し上げます。活動は総会や年数回の研究会、セミナー（情報提供・意見交換）などです。

■入会方法など

区域内の地権者並びに居住者の方ならどなたでもご入会いただけます。当協議会は会員からの会費と補助によって運営していますため年会費（2000円/口以上寄付方式）をお願いしております。

■お問い合わせ窓口

協議会への参加申込みや、その他各種のお問い合わせにつきましては、下記事務局、足立までお気軽にお寄せ下さい。

事務局（副会長）足立軍二
〒106-0032 東京都港区六本木3-4-24
TEL/FAX:03-3583-6371
e-mail: g.adachi.0514@nifty.com

「六本木三丁目東地区まちづくり協議会」は、平成20年10月16日付で「港区まちづくり条例」に基づき港区に申請登録し承認された六本木三丁目3番、4番、5番を指定地域として、同地域を「魅力あるまち」に発展させる「まちづくり」の方向を研究協議している協議会です。尚、当協議会は特定の個人・団体の利益増進、宗教活動、政治活動を目的としておりません。

第20号 まちづくりNEWS

まちづくり合同セミナーが開催されました！

【異なる団体とセミナーを合同運営の試み】

「六本木三丁目東地区まちづくり協議会」と「住友不動産（株）」は昨年3月より合同で「まちづくり合同セミナー」を開催することで協定し、開催して参りました。今年7月30日には第7回目の会合を予定していますが、この会合をもって、合同セミナーは延べ7回の成果を双方分析するため休会とすることを決めています。

【目指す点は「魅力あるまちづくり」一延7回のセミナーで追究ー】

「六本木三丁目東地区まちづくり協議会」は平成20年に「港区まちづくり条例」に基づき認定された協議会で、「なだれ坂」と「寄席坂」に挟まれた地域（六本木三丁目3番、4番、5番）を指定地域とし、同地域の「魅力あるまちづくり」の究明として「まちづくり研究会」を開催し、続けています。一方、同地域並びに同地域の西側地域を対象にした「まちづくり」として住友不動産は「勉強会」を開催し研究しています。この二つの団体は同地域を「どうしたら魅力ある街として発展できるか」という目指す点では一致していることから、両者一堂に会すれば、忌憚なく意見交換ができ、理解し合えるのではないかと趣旨から両団体は「合同でセミナー」を運営開催することを決め実施して来ました。

【第4回からは「連健夫氏」による「全員参加型セミナー」を4回シリーズで実施中】

「まちづくり合同セミナー」は第1回、第2回は講演方式で実施。第3回はKJ法を用いて同地域の特徴を皆で分析しました。第4回からは連 健夫氏（昨年11月よりまちづくり協議会がコンサルタント契約締結、次ページのプロフィールをご参照）による「ワークショップ」を主体とした「全員参加型セミナー」を4回シリーズで今年1月から実施しています。来る7月30日（日）には同シリーズの最終セミナーを開催予定です（開催概要は当NEWS4ページの「お知らせ」をご覧ください）。連健夫氏4回シリーズセミナー第1回～第3回の概要を当NEWS2～3ページにまとめて掲載しましたのでご覧ください。

第4回まちづくり合同セミナー（シリーズ1）：講演「良質なまちづくりとは何か？」

サブテーマ：六本木三丁目の東側の地区のアイデンティティづくりを英国の経験より話す。
いつまでも住み続けられる街とは？参加のまちづくりを楽しもう！

- 日時：2017年1月29日（日）14：00～16：00
- 場所：住友不動産六本木グランドタワー9Fカンファレンスセンター
- 講師：連健夫氏：建築家・港区まちづくりコンサルタント、早稲田大学、首都大学東京非常勤講師

①癒され元気になる街並みを英国に見る

村の構成要素は教会＋公園＋パブ（食堂・バー）であり、新しい集合住宅の設計にも活かされています。イギリス庭園は自然の景観、地形を活かすのが特徴です。前庭は街並みに貢献する半公共的な場として捉えており、コミュニティと地域資産へ貢献しています。つまり個人のストック（建物や庭広場）が社会のストック（街並、地域資産）になっています。



②良質な建築・街づくりの仕組み（英国 CABE）

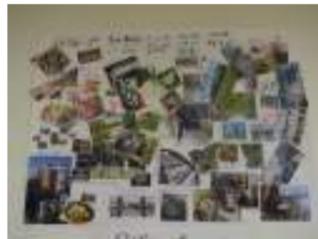
英国には良質な建築・まちづくりを行うシステムとしてCABE（ケイブ）という組織があります。公共建築や一定規模以上の建築に対して、専門家が入って協議調整が行われています。

③街づくりのポイント：地域のタカラ（良い点）を活かすと共に、アラ（問題点）を解決し地域の特徴を活かすこと。耐震化・不燃化を図り安心、安全な環境を作ること。街づくり条例をうまく活用し、街の個性（アイデンティティ）を共有化することです。

第4回まちづくり合同セミナー（シリーズ2）：「コラージュづくり大会」

将来の街のイメージを各自、持ち寄ってコラージュ（切り貼り絵）を皆で作りました！

- 日時：2017年3月12日（日）14：00～16：00
- 場所：港区麻生区総合支所「区民協働スペース」 ■参加者（47名）



■コラージュの例①

都会の森、緑が沢山、夢もある、お祭り盛り上がりが見える、美味しい店、美しい街、触れ合い、ガードレール電柱なし、子供たくさん、伝統残す皆が集まれる場、芸術

■コラージュの例②

食（気軽に入れるお店）戸建（庭）もある街、緑（散歩道）がある街、ルーファード、特徴ある三丁目の街、一人が集まる、ゆとりのある空間

■まとめ

- ①顔が見える街
- ②ずっと住み続けられる街
- ③緑がいっぱいある街
- ④高層だけでなく中層や低層住宅等多様性がある街
- ⑤第三の居場所が大切！
- ⑥個性のある街（坂道、散策路、お寺）
- ⑦世間話ができる街（広場、公園）
- ⑧防災、安心安全の街
- ⑨お祭り、イベントがある街
- ⑩多世代が楽しめる街

協議会がコンサルタント契約



連健夫氏
（むらじたけお）

建築家・港区まちづくりコンサルタント
早稲田大学、首都大学東京非常勤講師

1956年京都市生まれ、東京都立大学大学院修了の後、建設会社10年勤務、胃の手術がきっかけとなり1991年退社、渡英、AAスクール留学、AA大学院優等学位取得の後、同校助手、東ロンドン大学非常勤講師、在英日本大使館嘱託を経て1996年帰国、(有)連健夫建築研究室一級建築士事務所設立、建築設計の傍ら、まちづくりに関わる。作品に「ルーテル学院大学新校舎（日本建築家協会優秀建築選）」「荻窪家族レジデンス（2016年度グッドデザイン賞）」等、著書に「心と対話する建築・家」「イギリス色の街」「対話による建築まち育て（共著）」等

第4回まちづくり合同セミナー（シリーズ3）：具体化のデザインを考える（デザインゲーム）

コラージュ大会で得られた将来の夢を、地図の上にスタイロブロックを使って、建物や広場をゲーム感覚で作りました！

デザインゲーム：住民参加のまちづくりの手法、皆で一緒に考えることにより、敷地の特徴や建物と外部空間との関係を理解すると共に将来の夢を具現化（ゾーニング配置）することになります。今回のデザインゲームは、再開発を前提にして行ったものではなく、「再開発という手法を使った場合にどのような形になるのか」をゲーム感覚で皆で作ってみようという試みです。これを通して設計条件として、①～⑥のまとめが生まれました。これをベースにして次回はプロが複数のゾーニング案を出し、皆で検討します。尚、協議会では別な機会に「再開発以外の手法」でのデザインゲームもやってみたいと考えています。

- 日時：2017年5月20日（土）14：00～16：00
- 場所：港区麻生区総合支所「区民協働スペース」 ■参加者（42名）

Aグループ



- ①住宅とオフィスタワーのエリア分け
- ②2つのタワーの領域感
- ③グランドタワーとの整合性・一体感（課題）
- ④段差を活かす場所（ロンドン・セント広場の的）
- ⑤住民重視の地域→広場を広く、丘の感じ
- ⑥オープンスペースを活かす
- ⑦いい感じ！
- ⑧屋上庭園が欲しい！
- ⑨建設費がUPしそう。



■エリアの地図

この地図の上にスタイロブロック（建物）や色紙（オープンスペース）を配置する。高い所と低い所の差は約15m



■道具

色々な大きさのスタイロブロック（建物）、色紙（広場、公園、坂）を並べて検討した。



皆が一緒になって案を考えた。この成果を活かして、次回（7/30）はプロが作った案が複数出てくる。是非、多くの方に参加して欲しい！

Bグループ



- ①業務棟は六本木通り側に配置（ビル風が生じないデザイン）
- ②住居棟は南側に配置
- ③両棟の間に広場（六本木通り側）と公園（南側）を設ける
- ④お寺の擁壁（崖）周りは緑にする
- ⑤建物の周りに遊歩道を設ける
- ⑥広場、公園の周りにお店を配置
- ⑦広場と公園の間は大階段とスロープで繋ぐ
- ⑧寄席坂を人が歩ける坂道として継承する
- ⑨公園には池、噴水を！

■まとめ（AB共通点）

- ①六本木通り側に業務棟を配する
- ②住居棟は南側に配する
- ③2棟の間に広場、公園を設ける
- ④段差を活かす（大階段、スロープで繋ぐ）
- ⑤屋上庭園を設ける
- ⑥高層棟のデザインは大切